健康情報

問 健康推進課☎ 24-0816 FAX 24-5870

日本脳炎予防接種

日本脳炎の予防接種は、積極的な接種が控えられていた時期がありましたが、その後、新たなワクチンが開発され、現在は通常どおり受けられます。

通常の接種期間は、1期（3回）は3歳～7歳6か月を迎えるまで、2期（1回）は9歳～13歳を迎えるまでですが、接種の差し控えのあった下記の生年月日の該当者は、不足回数分を無料で受けられます。

接種方法

医療機関に予約し、母子健康手帳と健康保険証をお持ちの上、接種してください（予診票は、医療機関に設置）。

注意事項

※日本脳炎の予防接種は、合計4回です。重複がないよう、過去の接種履歴を確認してください。
※妊娠中または妊娠をしている可能性がある場合、原則、接種できません。
※接種は保護者の同伴が原則ですが、やむを得ない事情などで保護者が同伴できない場合、非同伴用予診票で接種できます。健康推進課にお問い合わせください。
※彦根市に住民登録のない人は、住民登録のある市区町村で確認してください。

日本脳炎予防接種の特例対象者

①【平成19年4月1日生まれまで】20歳を迎えるまでの間、不足回数分を無料で接種できます。
②【平成19年4月2日～同21年10月1日生まれ】7歳6か月を迎えるまでに1期の3回分が接種できなかった場合、2期の9歳から13歳を迎えるまでの間、1期の不足回数分と2期を無料で接種できます。

市民健康診査（19～39歳）

19～39歳の人を対象にした健康診査を実施します。

対 昭和56年4月1日から平成14年4月1日生まれの人
場 KKCウエルネスひこね健診クリニック（駅東町15-1）
駐車場 タイムズ彦根駅東口
※本駐車場のご利用に限り、サービス券をお渡しします。
¥ 1,300円
※健診料金が無料になる場合があります。詳しくは、広報ひこね5月15日号と同時配布しました「令和2年度彦根市健康診査・がん検診のお知らせ」をご覧ください。

時 受付時間　14：00

健診日程	
8月	5日(水) 6日(木) 19日(水) 20日(木) 25日(火) 28日(金) 31日(月)
9月	1日(火) 2日(水) 3日(木) 8日(火) 9日(水) 10日(木) 15日(火) 16日(水) 17日(木) 24日(木) 29日(火) 30日(水)

申 WEB予約のみ
QRコードから予約できます。

▶健康診査の内容は、問診・身体計測・腹囲測定・血圧測定・尿検査・血液検査・内科診察です。
▶血液検査がありますので、軽めの朝食にし、昼食は控えていただくことが望ましいです（水・お茶は飲んでも結構です）。

●健康診査と子宮頸がん検診が同時に受けられるKKCパック健診も実施しています。

詳しくは広報ひこね5月15日号と同時配布しました「令和2年度彦根市健康診査・がん検診のお知らせ」をご覧ください。

第13回

ブラジルへようこそ！

日本の夏に驚いたこと

夏に入って、だんだん暑くなってきました。皆さんは、熱帯国のブラジルから来た私なら、日本の夏は過ごしやすいと感じるはずと思うかもしれませんが、実はブラジルよりも日本の夏の方が苦手です。

出身地のサンパウロ市と彦根市を比べてみると、彦根市の方が涼しいですが、湿度がとても高いです。家を出てすぐに汗でベタベタになるので、カラッとした夏のサンパウロよりも辛いと感じます。

初めて日本で夏を過ごした時、袖や丈の短い服を着ている女性が少ないと気が付きました。蒸し暑い日にシャツ2枚、ズボン、スカーフ、長い日焼け止め手袋などの格好の人を見かけることが多く、「夏でもストッキングはやめられない」と言って、サンダルなのにストッキングを履く女性もいますね。短い服を着るどころか、さらに体をカバーするようなので、びっくりしました。ブラジルでは見かけない姿です。

ブラジル人は年齢に関係なく、暑い日には体型を隠さないで、肌を出す服を着ます。だから私もノースリーブやショートパンツをよく着ていました。しかし、日本ではそのような格好の人が周りにあまりいないので、自分だけが肩や足を出すのが恥ずかしくなってきました。ただ、サンダルをストッキングと一緒に履くことには違和感を感じるので、サンダルは素足で履きます。やはり、日本にいても、ブラジルで過ごしてきた夏の格好を少しでも残したいと思います。

【彦根市国際交流員　オカモト・ジュリア・ユリ】

広報 ひこね

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

VEGETABLE OIL INK

●広報ひこねのご案内

▶彦根市では、点字および音声版広報ひこね（編集版）を発行しています。
問 障害福祉課☎ 27-9981 FAX 30-9231
▶外国語版（英語、中国語、ポルトガル語）の広報ひこね（編集版）を発行しています。
問 人権政策課☎ 30-6113 FAX 24-8577
▶廃棄する場合には古紙回収に出してください。
▶広報ひこねは52,750部作成し、1部当たりの単価は13円（1円未満切り捨て）です。原稿作成・編集などにかかる職員の人件費は含まれていません。

●人口と世帯数（6月1日現在）

人口：112,546人　（－30）
男性：　56,071人　（－13）
女性：　56,475人　（－17）
世帯数：48,514世帯（－1）
※（　）内は前月比

季節ごとにまちの風景が変わっていくのが楽しい

今回から、コラムを書かせていただくことになりました、彦根市地域おこし協力隊の小林です。「移住コンシェルジュ」として、SNS（交流サイト）やイベントなどを活用し、彦根市に移住を希望する人への支援・促進を行っています。

今年の1月に埼玉から彦根に引っ越してきて、早半年が経とうとしています。あちこち市内を自転車で回っていると、街なかの建物や道では歴史を感じます。

川沿いや湖岸を走ったり、春にはいろいろな場所で桜が咲いたり、季節ごとに街の風景が変わっていくのを見るのが楽しいです。琵琶湖は毎日見え方が違うので、いつ見てもきれいです。

このコラムでは、私が日々感じたことを書いていきます。まだまだ知らない場所や、お会いしてない方もたくさんいらっしゃると思うので、出会った時はぜひお話ししてください。よろしくお願いします。

【彦根市地域おこし協力隊　小林　由季（ゆき）】